



ONE TEAM

准校長 岩崎 健治

日ごとに寒さがつのる季節となり、いつの間にか今年も残り少なくなってきました。先日の小学部「きりっ子フェスティバル」では、たくさんの方にご来校いただき、これまでの学習の成果を見ていただきました。クラスで役割や分担を決めチームで発表したり、学んだことをまとめたり、プレゼンテーションしたりして表現する力を高める場となりました。

中学部では、7年生が職業講話、8年生は職場体験を終え、キャリア教育の一つとして、様々な仕事について知ったり、体験したりしました。

さて、今年の流行語大賞に史上初のワールドカップベスト8に進出したラグビー日本代表のチームスローガンONE TEAM（ワンチーム）が年間大賞に選ばれました。受賞した選手の言葉の中には、「4年間をかけて、チームとしての文化を作り上げてきた」「ワンチームは一朝一夕にはなれない」との言葉がありました。“ローマは一日にして成らず”という言葉があります。ワンチームとは何も言葉だけでなく、その過程や精神がより大事なのではないかと思います。

霧が丘学園では、年間の教育活動の中に1年生から9年生までが一緒になって活動する時間があります。縦割り活動のグループをつくり、「きりたまタイム」や「きりたま給食」などで交流を深め、楽しく活動できる貴重な時間となっています。それぞれの活動には、共通の目的、達成すべき目標があり、チームとなって協力し、助け合って行動する場面が多くあります。始めは、グループとして集まりますが、活動を積み重ねていくうちに、チームとしての相乗効果がおこり、共通の目的、達成すべき目標のために子どもたちが一緒になって協力し、行動することになります。

11月9日に行われた小中一貫10周年記念お祝いの会の「宝探しゲーム」では、それぞれのチームが目的達成のために協力し、助け合い、そして大いに楽しみ喜んでいました。

ゴールの体育館に集まって、結果を発表した時には、子どもたちの心が達成感と喜びで一つになり、子どもたち全員が「ONE TEAM」となって10周年をお祝いした素晴らしい時間でした。小中一貫となって10年間、その過程の中で培われたものは言葉では表すことができないほど尊いものであると実感しました。

子どもたちは、長期休業に入りますが、元気で楽しい年末年始を過ごせるよう願っています。今年も保護者・地域の皆様に多くの場面や行事でご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。



《秋の植栽活動で植えたパンジーが綺麗な花を咲かせています。》